

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド

販売用資料

2021.11

年1回決算型・為替ヘッジあり

年1回決算型・為替ヘッジなし

年2回決算型・為替ヘッジあり

年2回決算型・為替ヘッジなし

追加型投信／内外／株式



投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は

設定・運用は

丸三証券



ニッセイアセットマネジメント

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：丸三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号
加入協会：日本証券業協会

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会



当ファンドの3つのポイント

ポイント

①

P2~10

長期的な成長が期待できる
デジタルヘルスケア分野

ポイント

②

P11~18

運用の強み・独自性

ポイント

③

P19~21

当戦略の良好な運用実績

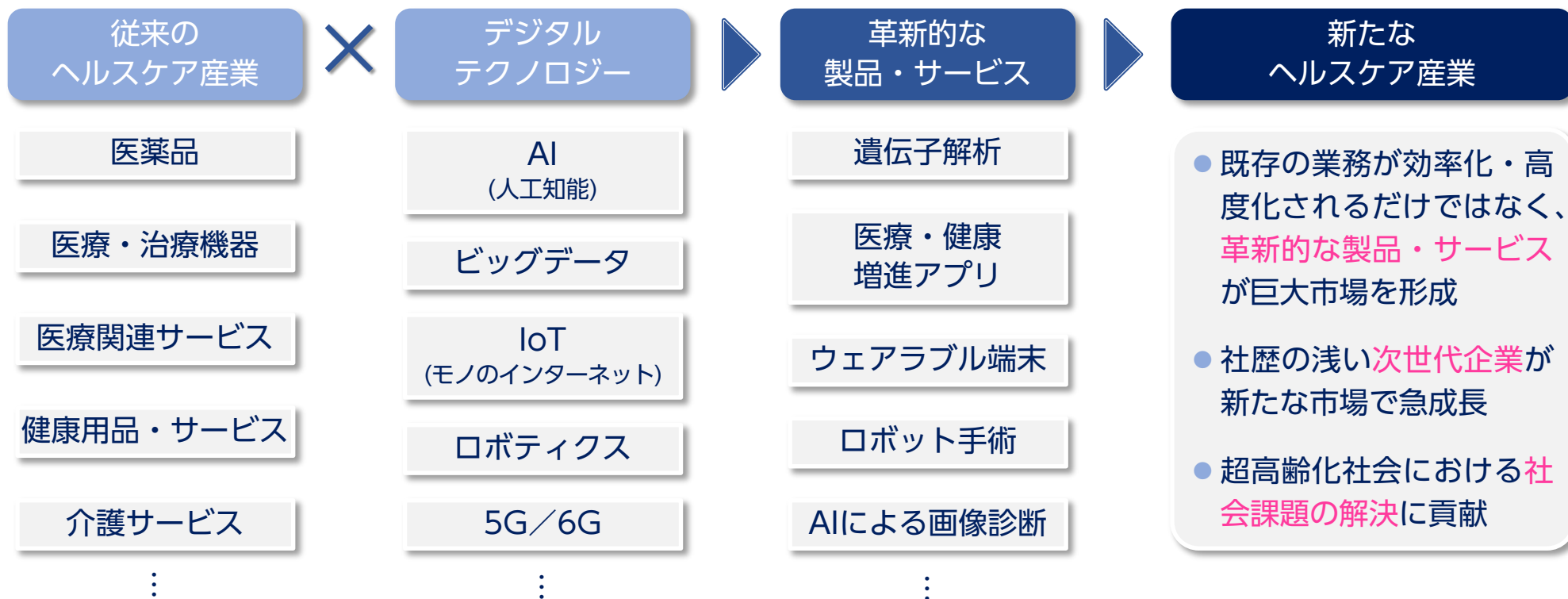


①長期的な成長期待 ～ (1)デジタルヘルスケアとは？

デジタルテクノロジー×ヘルスケア

「デジタルヘルスケア」とは、「デジタルテクノロジー」と「ヘルスケア」を組み合わせた新しい概念です。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合してイノベーションが起こることで、**革新的な製品・サービス**が続々と創出され、**新たな巨大市場**が切り開かれていくとみられます。

デジタルテクノロジーとの融合がもたらすヘルスケア産業の大変革～ 従来との違い



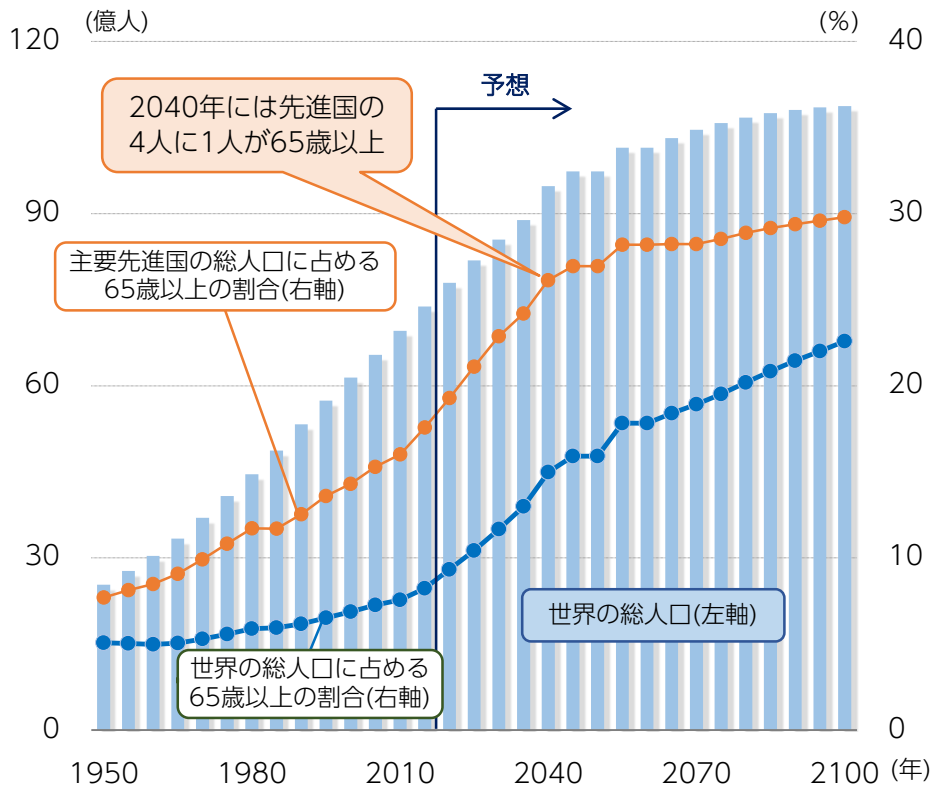
上記はヘルスケア産業の変革のイメージをお示しするものであり、すべての事象を網羅するものではありません。また、将来の実現を保証するものではありません。

超高齢化社会の課題解決にはデジタル化が急務

2040年には先進国の4人に1人が65歳以上になると予想されるなど、超高齢化社会の到来が見込まれています。医療費負担の増加や医療現場の労働力不足などの社会課題を解決するためには、デジタルテクノロジーの活用が急務であると考えられます。

超高齢化社会の到来が見込まれる

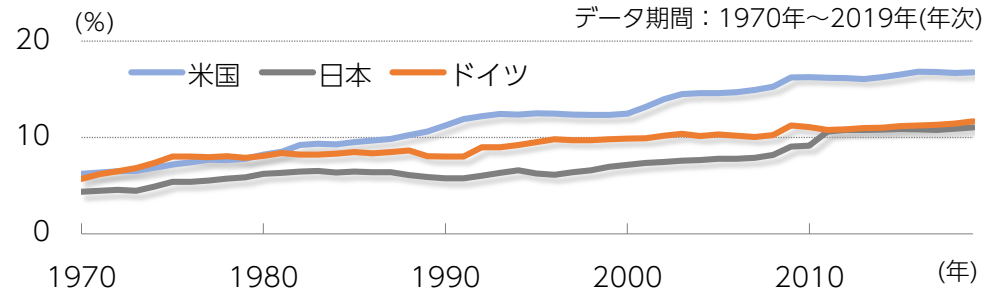
<世界の総人口と65歳以上の割合の推移>



出所)国際連合のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間：1950年～2100年(5年毎) 2020年以降は2019年時点の予想値
主要先進国：欧州、北米、オーストラリア、ニュージーランド、日本

増加傾向にある医療費負担

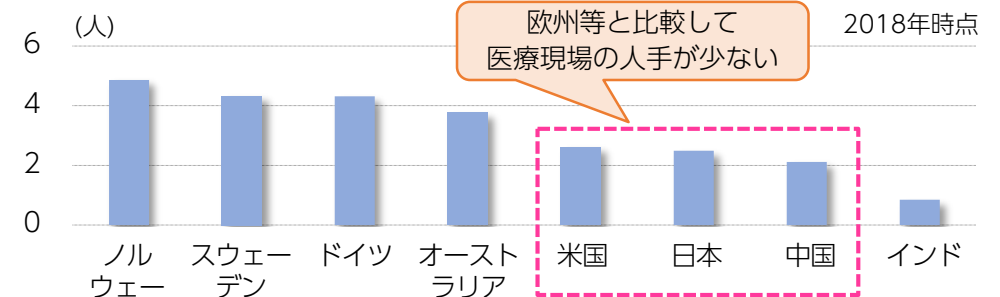
<GDPに占める医療関連支出の割合の推移>



出所)OECDのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

医療現場の労働力不足も課題

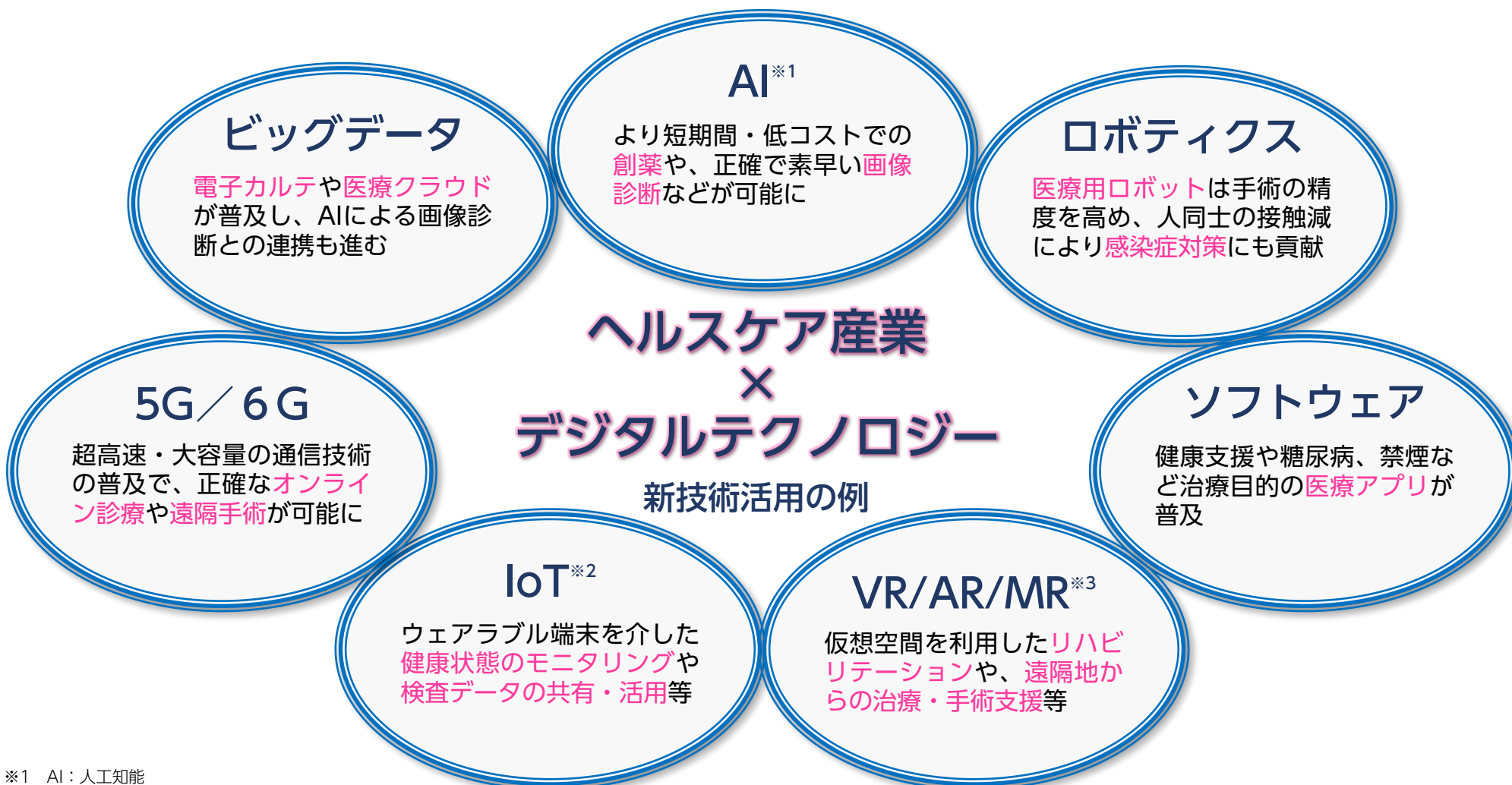
<人口1,000人当りの医師数>



出所)OECDのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

デジタルヘルスケアをけん引する新技術

著しく進化したデジタルテクノロジーが、ヘルスケア産業に変革を起こしつつあります。



※1 AI：人工知能

※2 IoT：モノのインターネット

※3 VR：仮想現実、AR：拡張現実、MR：複合現実、いずれも現実と仮想空間を融合させる技術

出所)各種資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記はイメージをお示しするものであり、すべての事象を網羅するものではありません。また、将来の実現を保証するものではありません。

デジタルヘルスケアは長期的なメガトレンド

超高齢化社会における社会課題を解決していくためには、進化を続けるデジタルテクノロジーの活用が必要不可欠であり、デジタルヘルスケア分野の成長は長期的なメガトレンドになると考えられます。

デジタルヘルスケア分野の長期的な成長のイメージ

超高齢化社会における社会課題

- ✓ 医療の効率化と費用の抑制
- ✓ 診断・治療の高度化
- ✓ 予防・未病対策※で健康寿命を延伸

※症状がないあるいは軽いうちに異常を見つけ対策すること

デジタルテクノロジーの進化

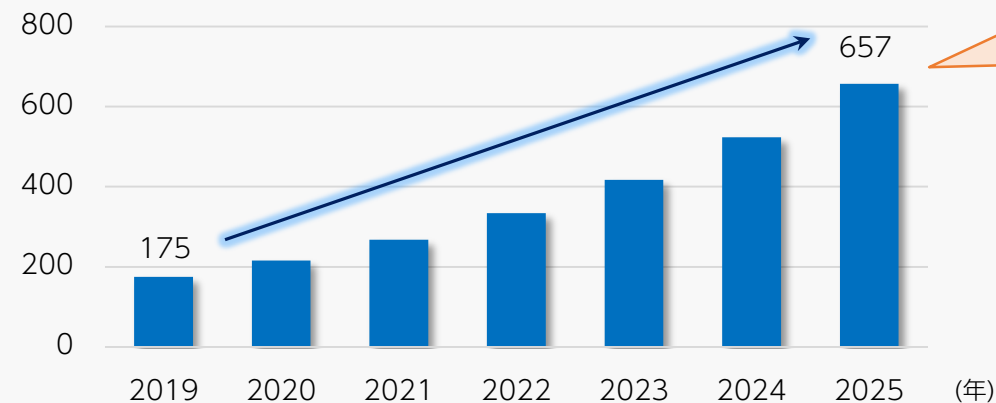
- ✓ IoTやAI技術の進化
- ✓ コンピュータの解析能力向上
- ✓ インターネット環境の向上

デジタルヘルスケア分野の成長は長期的なメガトレンド

従来のヘルスケア産業と進化を続けるデジタルテクノロジーが融合することにより、**革新的な製品・サービス**が登場。社会課題の解決に向けて、デジタルヘルスケア分野は長期的に成長を続けると考えられます。

<世界のデジタルヘルスケア市場規模(情報通信関連)の予想>

(10億米ドル)



出所)スタティスタのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 2019年4月時点の予想値

当ファンドが着目する4つの成長分野

デジタルヘルスケアは、特に以下の4つの分野で従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会課題の解決に貢献していくと見込まれています。これらの4分野は、これからのヘルスケア産業を支え、リードする長期的・持続的な成長分野であると考えられます。

当ファンドでは、主に4つの成長分野で中長期的な成長が期待される銘柄をボトムアップで厳選します。



A：ヘルスビッグデータ

医療の効率化や
自動化をサポート



B：高度診断

低コスト・高精度の
診断で「予防・未病
対策」を促進



C：標的療法

遺伝子情報等から
個々の病気の原因
そのものを狙い撃ち



D：健康寿命の延伸

あらゆる生体データ
の活用で健康増進



上記の当ファンドが着目する4つの成長分野は、今後変更となる場合があります。

①長期的な成長期待 ~ (3)デジタルヘルスケアの成長性

成長分野A ヘルスビッグデータ

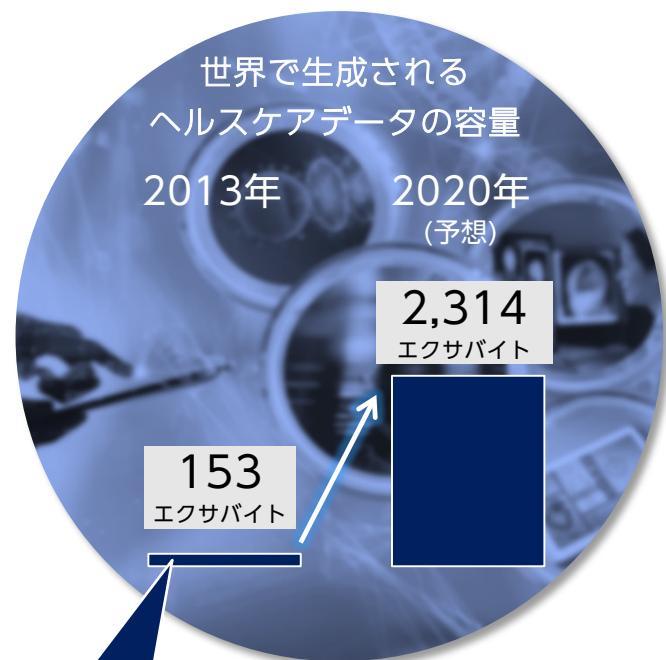
当分野の投資事例についてはP15をご覧ください。

<医療の効率化や自動化をサポート>

患者の検査・診断・処置データなど、ヘルスケア領域で日々蓄積される膨大なデータ(ヘルスビッグデータ)の取扱いに、AI(人工知能)などのデジタルテクノロジーを活用する試みが急速に普及しています。

ヘルスビッグデータを活用した様々なデジタル医療サービスが今後長期的に成長していくと見込まれます。

ヘルスビッグデータは大幅に増加



1エクサバイト=約1兆メガバイト
153エクサバイトは、
約2.6兆枚の音楽アルバムに相当。

ヘルスビッグデータの活用例と期待される効果

データの共有

患者の医療データを複数の医療機関で共有し、検査の重複や不要な投薬などを回避してコスト削減と効率化・高度化を実現



画像診断

AIが大量の医療データをもとに人間の目より正確にレントゲンなどの画像を分析し、医師の診断をサポート



医療アプリ

ウェアラブル端末から取得した体温や心拍数などのデータをAIが管理・分析し、日々の健康管理・予防に活用



創薬

AIが病気の原因の特定とそれに作用する化学化合物の探索を行い、新薬開発サイクル短縮と開発コスト削減に寄与



出所)スタンフォード大学、各種報道の資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成



成長分野B 高度診断

当分野の投資事例についてはP16をご覧ください。

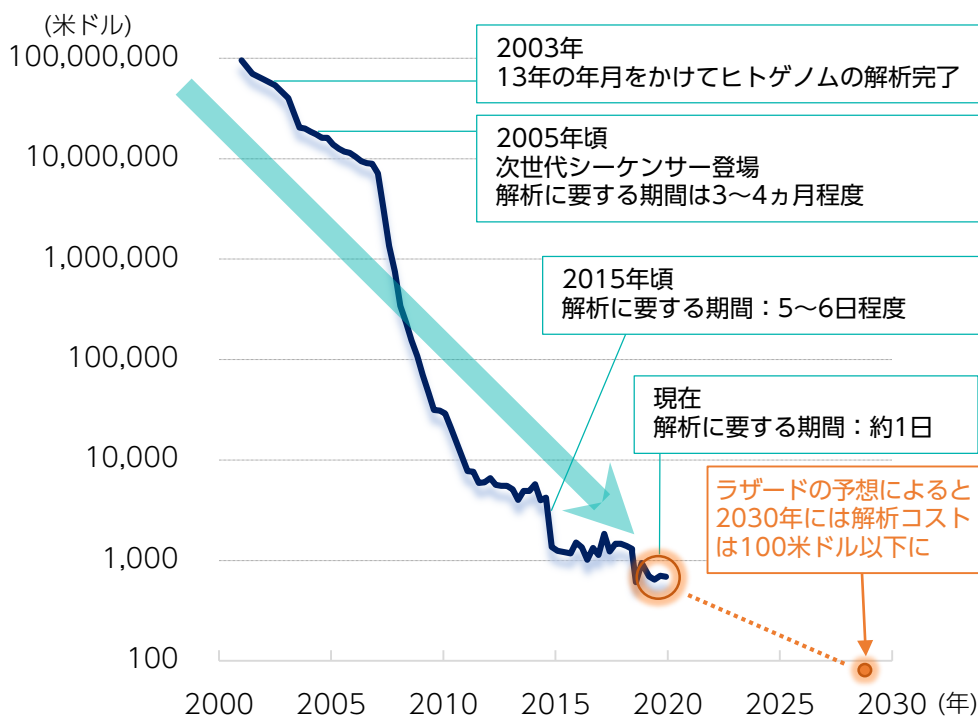
<低コスト・高精度の診断で「予防・未病対策」を促進>

遺伝子配列を高速で解析できる「次世代シーケンサー」と呼ばれる装置の飛躍的な性能向上などにより、遺伝子解析を活用した高度診断が普及しつつあります。

また、体液サンプル等により安い費用で高度な診断を受けられるサービスなども普及していくと見込まれます。

遺伝子解析にかかるコストと期間は劇的に低下

<ヒト1人の遺伝子解析にかかるコストの推移>

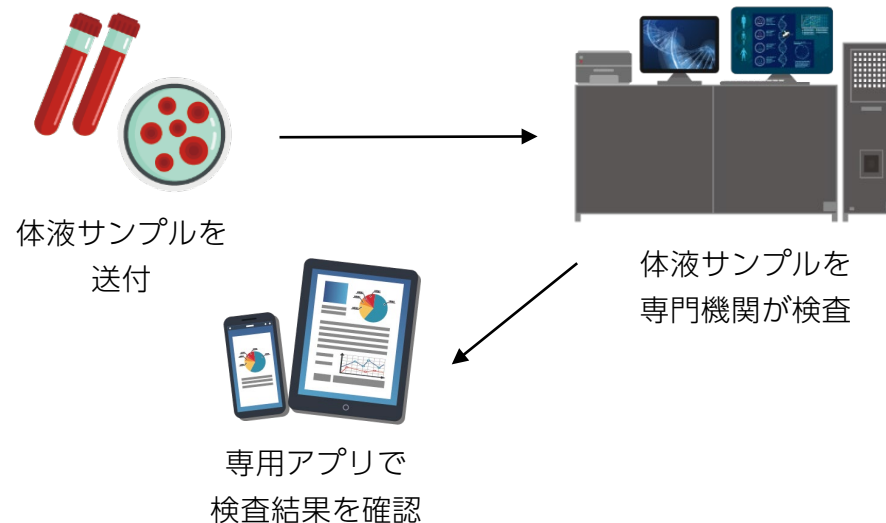


データ期間：2001年9月～2020年8月(2003年3月までは半年毎、2003年10月以降は3ヵ月毎)
出所)ラザード、NHGRI、各種報道の資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成

安い費用で簡単に高度な診断を受けられる

専門の医療機関に出向き、患部の一部をメスで採取して調べるといった負担なく、自宅から唾液や血液、尿などのサンプルを送付するだけで、高度な診断結果を専用アプリで見ることができるといったサービスの普及が期待されています。

<自宅で使える検査キットのイメージ>





成長分野C 標的療法

当分野の投資事例についてはP17をご覧ください。

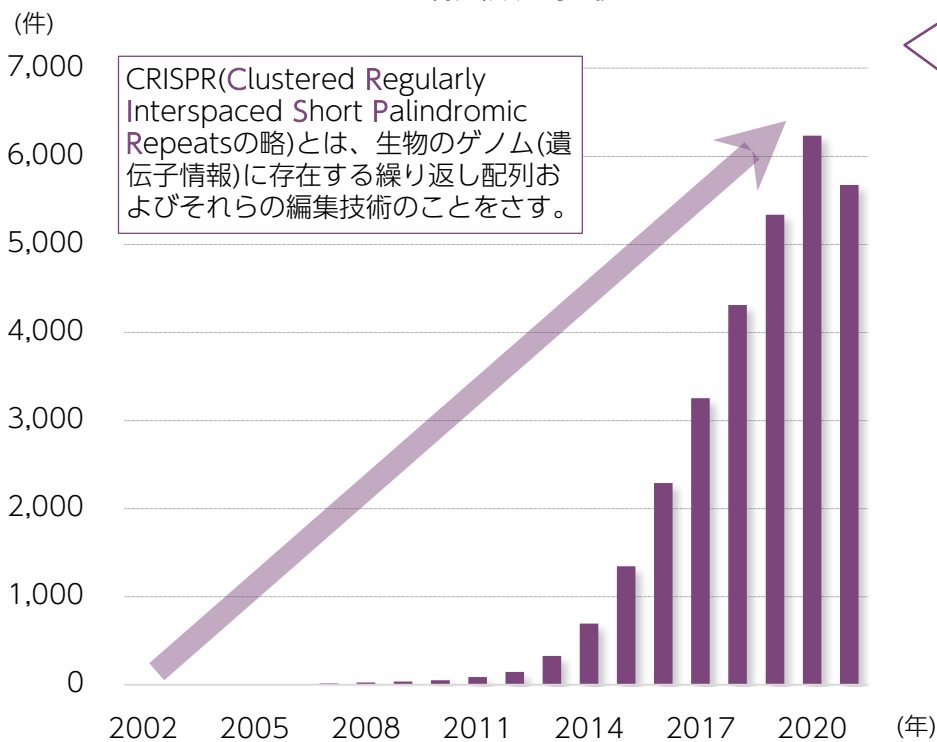
<遺伝子情報等から個々の病気の原因そのものを狙い撃ち>

遺伝子編集技術などの最先端テクノロジーの実用化により、病気を引き起こすたんぱく質や分子を特定し、それらをターゲットにした的確で最適な治療・投薬を行う標的療法が進展すると見込まれています。

今後は画一的な治療ではなく、遺伝子情報に基づいた最適な治療が受けられるようになると期待されます。

注目が集まる遺伝子編集技術 “CRISPR”

<CRISPRについて書かれた論文数の推移>

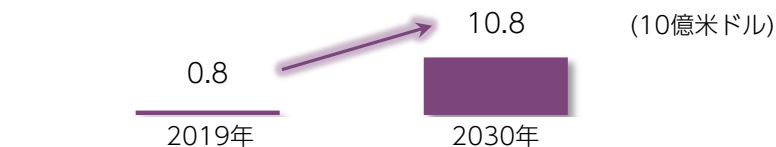


ゲノム編集に革命を起こした遺伝子編集技術 “CRISPR-Cas9”

クリスパーキャスナイン

CRISPR-Cas9は、遺伝子情報の特定の部分のみを切り取り、書き換えることができる技術のことです。今後、長期的な成長が期待されている分野であり、2020年には、同技術の主要な開発者がノーベル化学賞を受賞しました。

<世界のCRISPRによる遺伝子編集市場規模の予想>



出所)スタティスタのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

ターゲットを絞った的確で最適な治療・投薬

がんの場合、現在主に使用されている化学療法薬は、がん細胞だけではなく正常な細胞にも作用してしまうという問題があります。標的療法では、細胞の特徴を分子レベルで捉え、正常な細胞に害を与えずにがん細胞だけを狙い撃ちすることをめざします。

データ期間：2002年～2021年(年次、2021年は2021年9月まで)

出所)アメリカ国立医学図書館、各種報道の資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成



成長分野D 健康寿命の延伸

当分野の投資事例についてはP18をご覧ください。

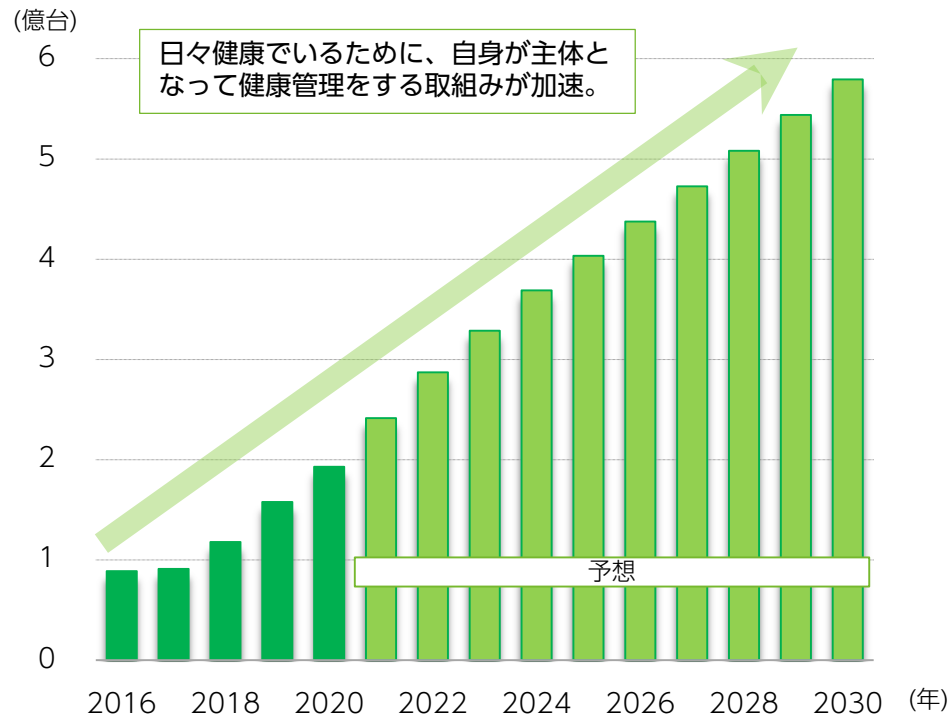
<あらゆる生体データの活用で健康増進>

センサー技術の進化により、身体に装着して生体データを計測するウェアラブル端末の普及が進んでいます。近年では、ウェアラブル端末などの医療機器をインターネットを介して医療機関に接続する「IoMT※」という取り組みにより、医療・生体データを集約・解析して健康増進や早期予防に役立てる試みが始まっています。

※ Internet of medical things(インターネット・オブ・メディカル・シングス)の略称

著しい成長が見込まれるウェアラブル端末市場

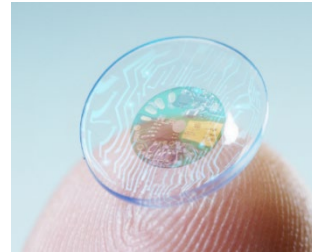
<ウェアラブル端末の出荷量の推移>



IoMTの活用例

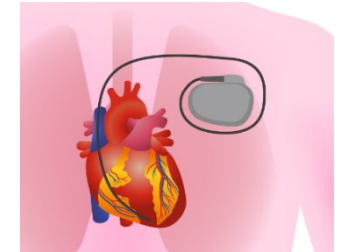
スマートコンタクトレンズ

血糖値測定や
VR/ARを用いた視覚拡張など



埋め込み型デバイス

心臓のポンプ機能など



スマートウォッチ

健康状態や運動のデータを
測定しアプリなどで管理



ウェアラブルスーツ

介護やリハビリの際に
人の動作をサポート



データ期間：2016~2030年(年次) 2021年以降は2021年10月時点のラザードの予想値
出所)ラザード、CCS Insights、各種報道の資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成

②運用の強み・独自性

当ファンドの運用を担当するラザードのご紹介

当ファンドの運用は、株式運用で定評があるラザードが行います。

同社は、近年日本の公募投資信託市場でも存在感が増している米国の資産運用会社です。

会社概要

<ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー>

LAZARD
ASSET MANAGEMENT

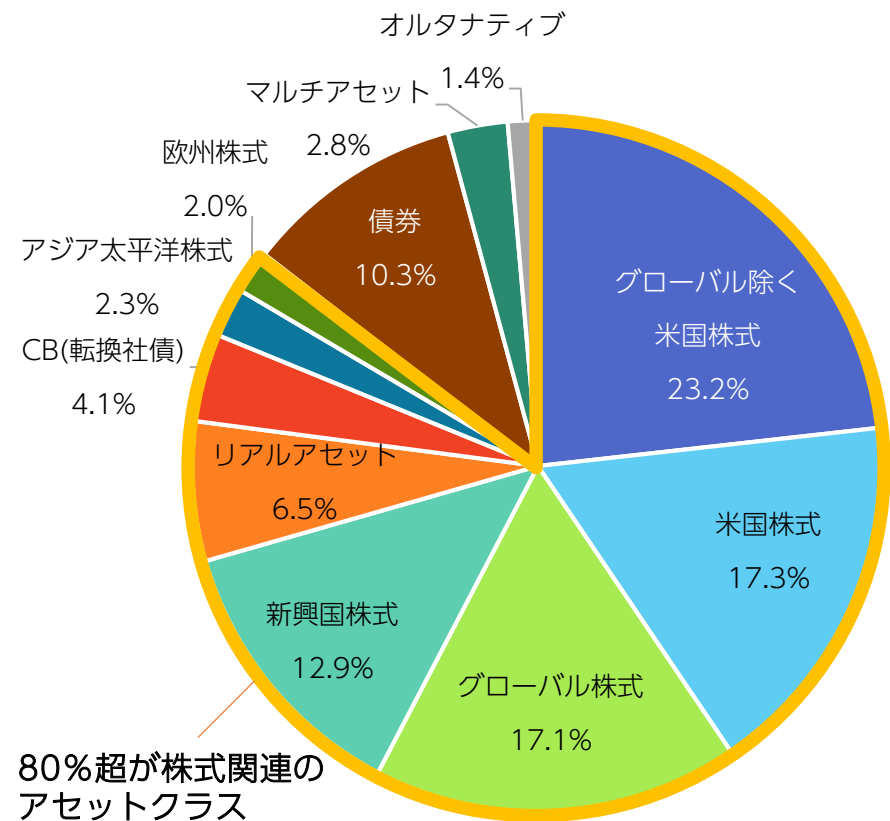
米国・ニューヨークを拠点とする資産運用会社
850名超の役職員が、世界17カ国・地域で事業を展開
運用資産総額※1は約2,451億米ドル(約27.1兆円)

グローバル・ネットワーク

日本の公募投資信託市場で約8,000億円※2の資産を運用



株式運用に注力



出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 2021年6月末時点(※2は2021年9月末時点)、為替は1米ドル=110.58円で円換算、アセットクラス分類はラザードによるものです。※1 運用資産総額には、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(ニューヨーク)およびその子会社の運用資産が含まれますが、Lazard Frères Gestion(フランス)や、ラザード・リミテッドのその他の運用事業の資産は含まれていません。

②運用の強み・独自性

いち早くデジタルヘルスケア分野に着目し運用を開始

当ファンドの運用担当者は、デジタルヘルスケア分野の成長性にいち早く着目し、**当ファンドと同様の方針で運用を行うデジタルヘルスケア戦略***を2016年6月から運用してきました。*当戦略の詳細についてはP19をご参照ください。
当戦略は、これまで世界株式指数やヘルスケア株式指数を上回る**優れたパフォーマンス**を示しています。

当ファンドの銘柄選定の考え方

徹底した 調査・分析

業界リサーチや
企業訪問等の
実地調査を重視

投資銘柄を 厳選

20~40銘柄に
厳選投資

長期保有 を前提

5~10年間の
保有に耐えうる
銘柄を選定

当ファンドの運用担当者

- デジタルヘルスケアと関連の深い情報技術と消費財関連で豊富な投資経験を有する
- 伝統的なヘルスケア投資の枠組みを超えた知見や経験を活用

ライアン・ハッチンソン



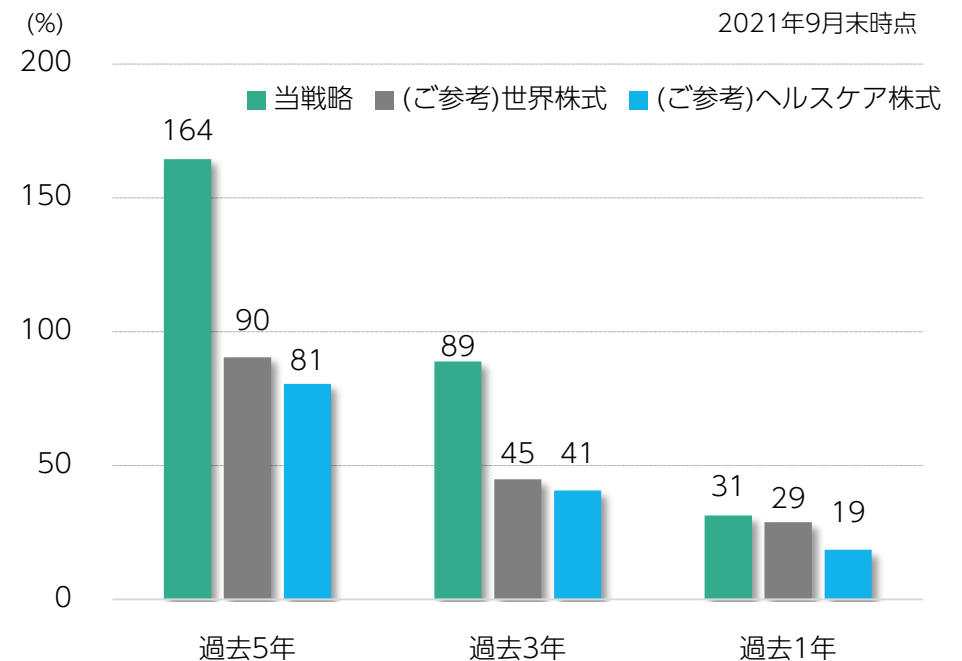
ポートフォリオ・マネージャー/アナリスト

ステファン・ヴィンマー



出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

当戦略のパフォーマンス(米ドルベース)



出所)FactSet、ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
世界株式：MSCIワールド・インデックス(配当込み)、ヘルスケア株式：MSCIワールド・ヘルスケア・インデックス(配当込み)
上記はデジタルヘルスケア戦略(詳細はP19ご参照)の運用実績(運用報酬等控除前)を示したものです。当ファンドの運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

市場インデックスに捉われないボトムアップ運用

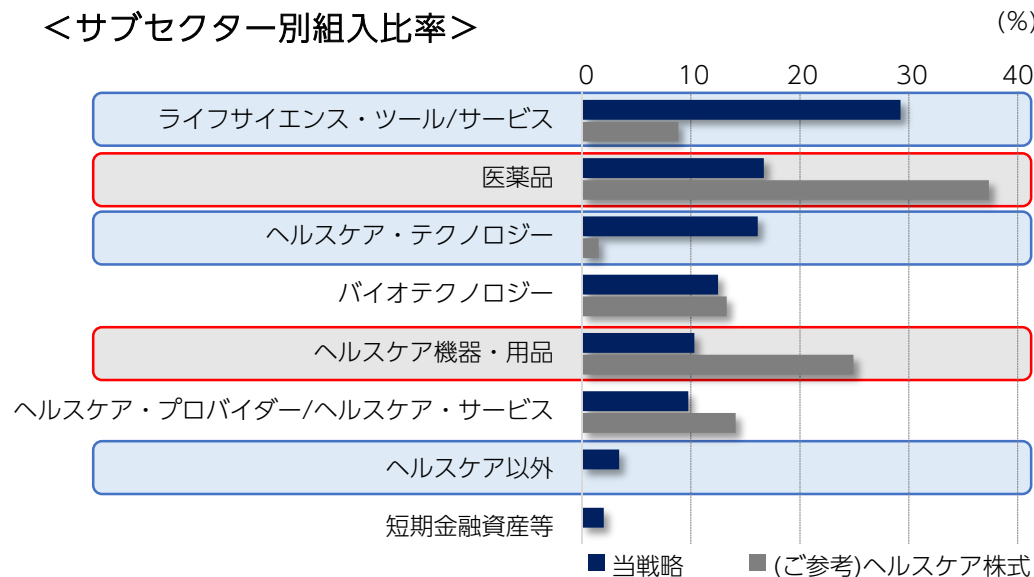
当ファンドは、市場インデックスに捉われず、ボトムアップで組入銘柄を選定します。

2021年9月末時点で、デジタルヘルスケア戦略の組入銘柄の約半分程度がヘルスケア株式指数に含まれない銘柄となっており、サブセクター別や規模別の組入比率もヘルスケア株式指数とは大きく異なっています。

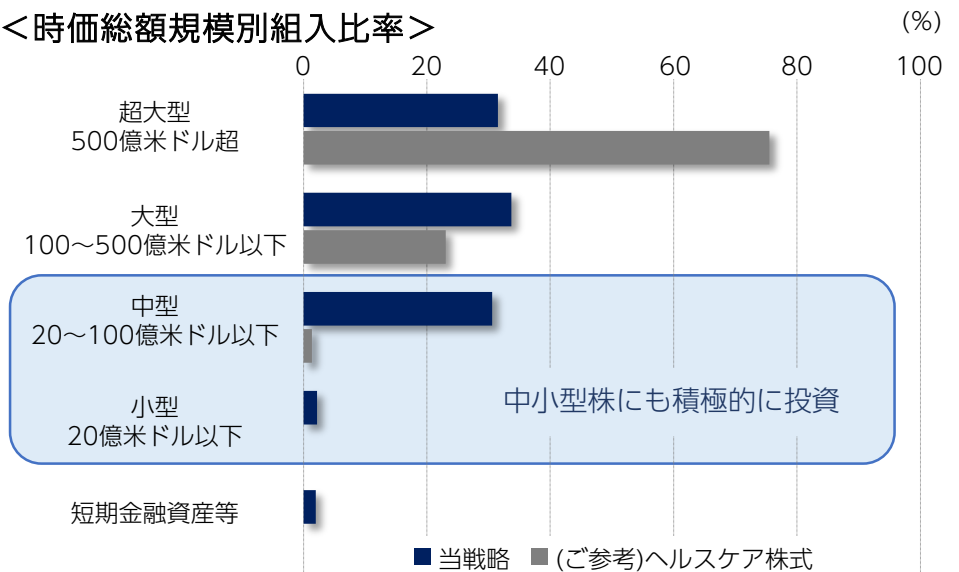
当戦略における足もとの銘柄選択の視点

魅力的とみている銘柄の例	業界秩序を破壊しうる圧倒的なテクノロジーを有する企業	高度なテクノロジーによりソリューションを提供する企業
	競争優位性を確保し中長期的なシェア拡大が見込まれる企業	
魅力に乏しいとみている銘柄の例	薬価引き下げや医療制度変更の影響を受けやすい企業	デジタル化への対応が不十分と考えられる企業

<サブセクター別組入比率>



<時価総額規模別組入比率>



出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 2021年9月末時点 ヘルスケア株式：MSCIワールド・ヘルスケア・インデックス
サブセクターはGICS分類(産業)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。比率は対純資産総額比。上記はデジタルヘルスケア戦略(詳細はP19ご参照)の運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

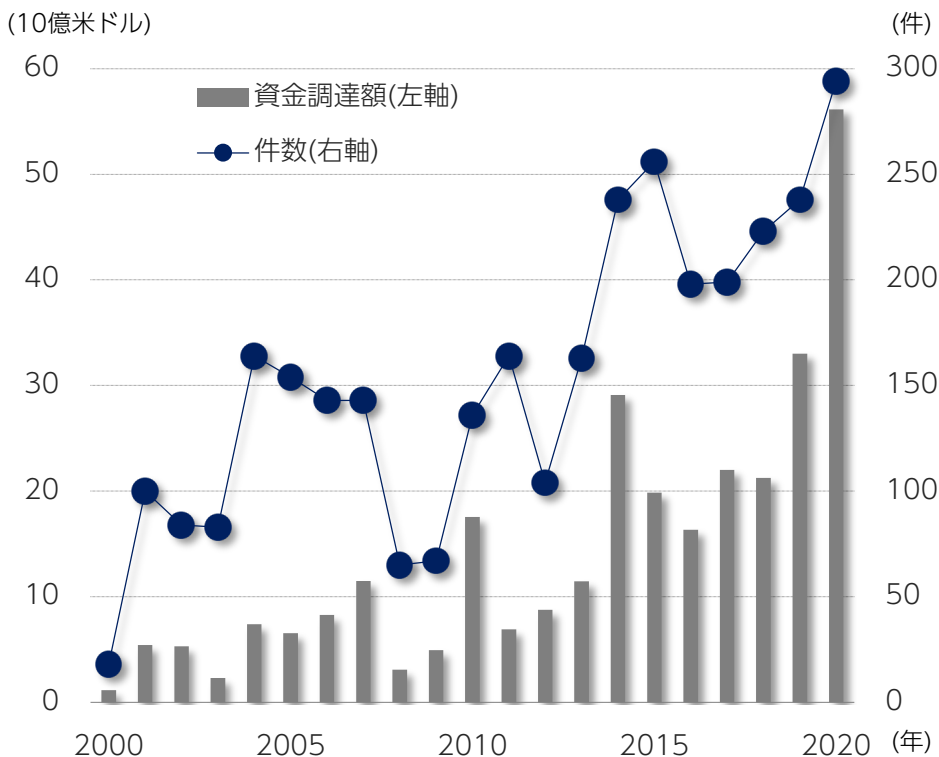
IPO(新規公開)から日の浅い銘柄にも積極投資

近年、ヘルスケア企業のIPOは増加傾向にあります。当ファンドでは、IPOから日の浅い次世代デジタルヘルスケア企業のうち、中長期的に魅力的なリターンが期待される銘柄に積極的に投資します。

当ファンドの運用担当者は、これまで年間約100社の未上場企業と面談し、投資機会を発掘してきました。

ヘルスケア企業のIPOは増加傾向

＜ヘルスケア企業のIPOの資金調達額と件数の推移＞



データ期間：2000年～2020年(年次)
 出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 公表日ベースで集計。
 医薬品、バイオテクノロジー、ヘルスケア製品、ヘルスケア・サービスに加えて、ソフトウェア(医療情報)および消費財(運動機器等)に分類される企業が含まれています。

次世代ヘルスケア企業にも積極的に投資

- 当戦略の組入銘柄の約38%が上場後5年未満 (2021年9月末時点)
- 当戦略の組入銘柄には現在業績が赤字の企業も多いが、今後5年程度での黒字化と中長期的な株価上昇を見込んでいる

＜過去5年以内にIPOを行った銘柄への当戦略の投資事例＞

ヘルスビッグデータ	ヘルスカタリスト(米)	医療機関向けクラウドサービス
高度診断	テンエックス・ゲノミクス(米)	シングルセル解析
標的療法	CRISPRセラピューティクス(スイス)	第3世代遺伝子編集技術
健康寿命の延伸	ペロトン・インタラクティブ(米)	フィットネス機器・サービス

出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 上記はデジタルヘルスケア戦略(詳細はP19ご参照)の運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

②運用の強み・独自性



成長分野A「ヘルスビッグデータ」の投資事例

アイキュービア

IQVIAホールディングス

国・地域	業種	規模
米国	ヘルスケア(ライフサイエンス・ツール/サービス)	大型



医療データサービスのソリューション・プロバイダー

世界100カ国以上の国・地域で事業を展開。バイオ医薬品会社、ライフサイエンス企業、製薬会社、保険会社や医療機関等に対して、医療情報の収集・分析に関するプラットフォームを提供。

投資の着眼点

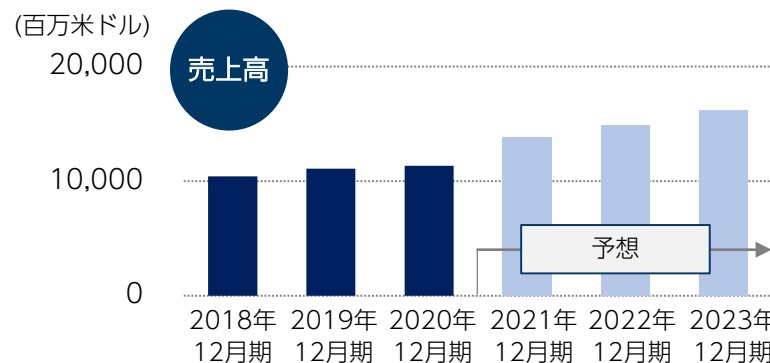
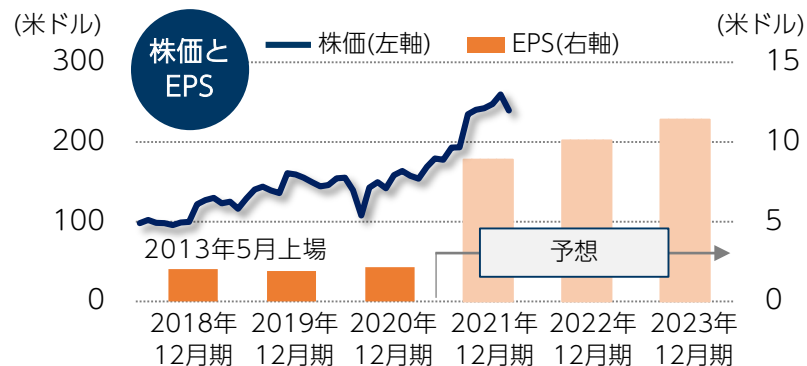


- 医療にとって重要な「安全性」の根拠となるデータに関するサービスを展開
- 医療データの収集・分析はアナログ中心で非効率な状況が続いており、同社のサービスに対する需要は高い

競争優位性

他に類を見ない膨大なデータ資産	治験受託ビジネスの強化
約8億人分のヘルスケア関連データを収集しており、700億件を超える医療記録にアクセス可能	従来は被験者が医療機関に出向く必要があった臨床試験について、在宅でできるサービスを提供

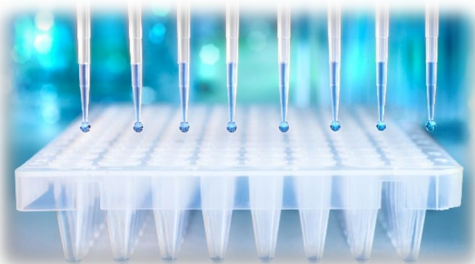
株価とEPS(1株当たり純利益)、売上高の推移



出所)ラザード、ブルームバーグのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成 株価のデータ期間は2017年12月末～2021年9月末(月次)、EPSと売上高の予想は2021年10月現在のブルームバーグ集計値。国・地域はラザードの分類、業種はGICS分類、規模はP13右グラフの区分によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。上記はデジタルヘルスケア戦略(詳細はP19ご参照)の2021年9月末時点の組入銘柄を紹介するものです。当ファンドの組入銘柄ではありませんので、あくまでご参考としてお考え下さい。特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

テンエックス・ゲノミクス

国・地域	業種	規模
米国	ヘルスケア(ライフサイエンス・ツール/サービス)	大型



細胞レベルでのデジタル解析技術の高度化をリードするテクノロジー企業

個々の細胞を解析することで、従来の複数の細胞集団の平均値を解析する方法では見逃されてきたような病気のメカニズム解明をめざす最先端技術「シングルセル解析」に関する解析装置・ソフトウェアメーカー。

投資の着眼点



- 従来のアナログな解析から最先端技術を活用したデジタル解析への移行が進むことが追い風
- 悪性腫瘍の特定や免疫療法、再生医療等の領域で同社の技術へのニーズは高い

競争優位性

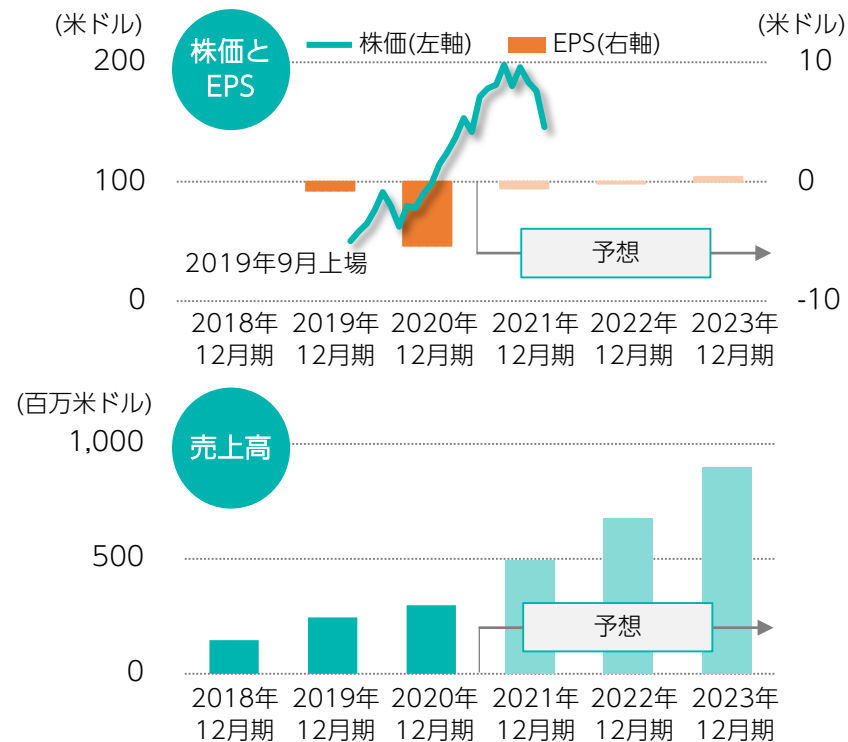
大手顧客にデジタル解析プラットフォームを提供

グローバル研究機関トップ100やグローバル製薬会社大手20社の多くを顧客にもつ

買収によるビジネスモデルの強化と多くの特許保有

企業買収に積極的。買収により獲得した特許を含め、約1,100件の特許を保有

株価とEPS(1株当たり純利益)、売上高の推移



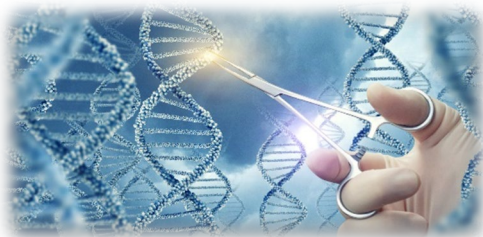
出所)ラザード、ブルームバーグのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記の記載内容に関する注釈はP15をご参照ください。

株価のデータ期間は2019年9月末～2021年9月末(月次)



キャタレント

国・地域	業種	規模
米国	ヘルスケア(医薬品)	大型



バイオ医薬品や細胞・遺伝子治療薬などのファウンドリー大手

約2,500名の科学者・技術者を抱え、医薬品・バイオ医薬品やヘルスケア関連製品のファウンドリー(開発・製造業務の受託)を中心とした事業をグローバルに展開。

投資の着眼点

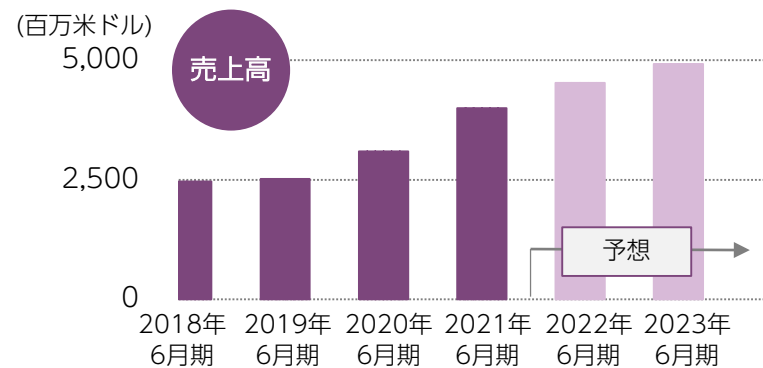
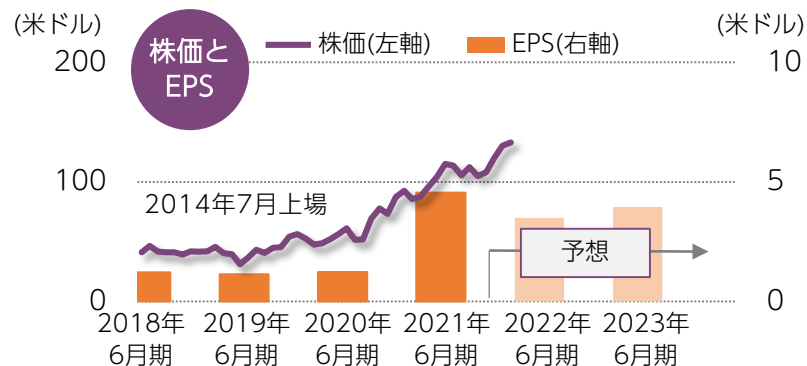


- 日常的な大衆医薬品からバイオ医薬品、遺伝子治療薬、細胞治療薬等へのシフトが進むことが追い風
- 同社のファウンドリーサービスは世界中から高い支持を得ている

競争優位性

長期契約とフルラインサービスで顧客を囲い込み	ドラッグデリバリー・システム(DDS)
医薬品の開発・製造、治験サービス、包装・ラベリング・配送まで一貫したサービスを提供	標的となる遺伝子に必要最低限の量で狙い通りに治療薬を届けるDDSの技術開発で業界をリード

株価とEPS(1株当たり純利益)、売上高の推移



出所)ラザード、ブルームバーグのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記の記載内容に関する注釈はP15をご参照ください。

株価のデータ期間は2017年12月末～2021年9月末(月次)



ペロトン・インタラクティブ

国・地域	業種	規模
米国	一般消費財・サービス(レジャー用品)	大型



デジタルを活用したフィットネスサービスを提供

フィットネス・バイクやランニングマシン等の機器の製造・販売の他、月額定額制のフィットネス動画配信サービスなど、デジタル・コンテンツとトレーニングを融合させたサービスを展開。

投資の着眼点



- トレーニング機器と動画配信サービスを組み合わせることで、ユーザーから強く支持されている
- フィットネス業界のネットフリックスやアマゾンとも称され、既存の業界からのシェア獲得が見込まれる

競争優位性

顧客満足度は全米最高クラス	ユーザーデータの蓄積
2020年のフィットネス・バイク所有者に対する顧客満足度調査でNPS(顧客推奨度)94点を獲得	トレーニング機器を通じて蓄積されたユーザーデータは、フィットネス分野以外でも需要拡大

株価とEPS(1株当たり純利益)、売上高の推移



出所)ラザード、ブルームバーグのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記の記載内容に関する注釈はP15をご参照ください。

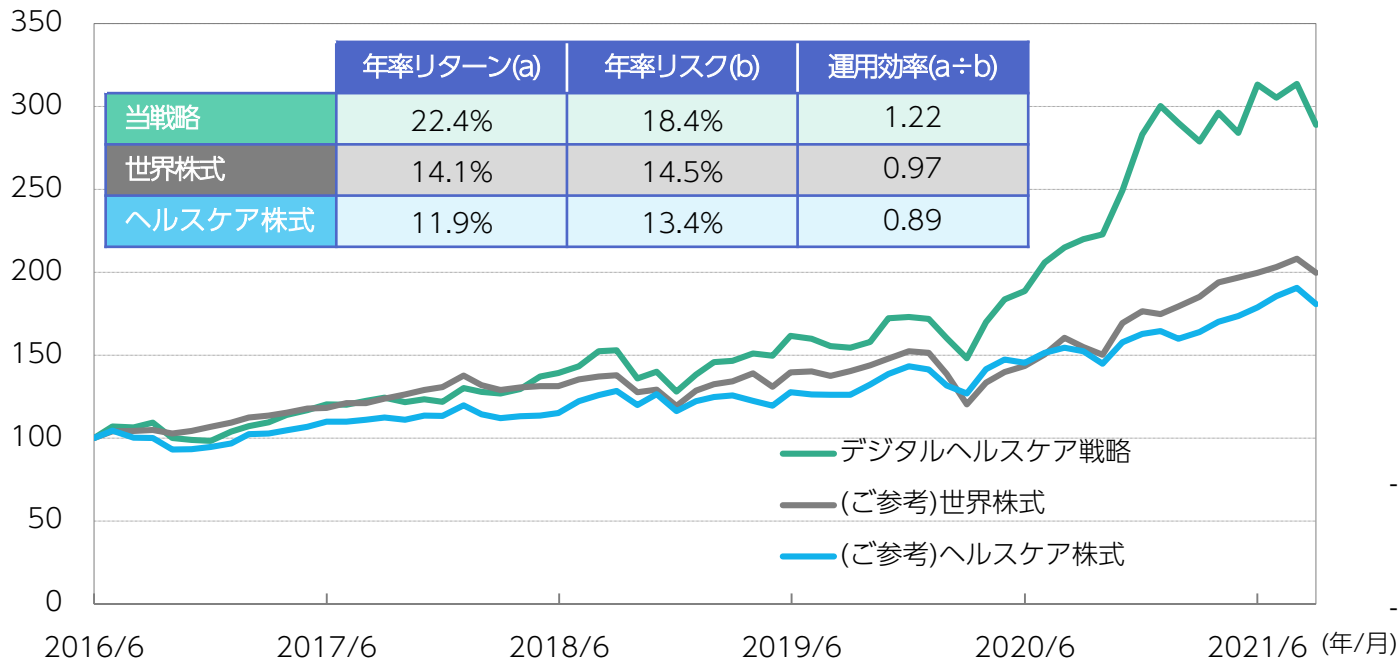
株価のデータ期間は2019年9月末~2021年9月末(月次)

③当戦略の良好な運用実績

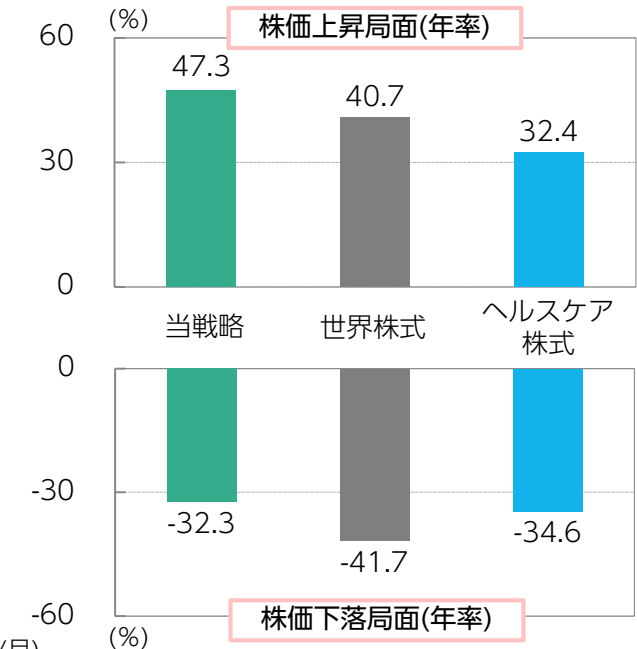
デジタルヘルスケア戦略のパフォーマンス

デジタルヘルスケア戦略は、これまで世界株式指数とヘルスケア株式指数を上回る良好なパフォーマンスを示してきました。投資魅力度の高い銘柄を厳選するとともに、成長分野の分散と個別銘柄レベルでのリスク分散を徹底してきた結果、局面別では上昇局面・下落局面とも両指数を上回っています。

当戦略の設定来のパフォーマンス(米ドルベース)



局面別パフォーマンス(米ドルベース)



データ期間：2016年6月末<設定月の月末>～2021年9月末(月次)

出所)Factset、ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

世界株式：MSCIワールド・インデックス(配当込み)、ヘルスケア株式：MSCIワールド・ヘルスケア・インデックス(配当込み)

2016年6月末を100として指数化 株価上昇局面：世界株式が上昇した月の月次リターンを累積し年率換算、株価下落局面：世界株式が下落した月の月次リターンを累積し年率換算

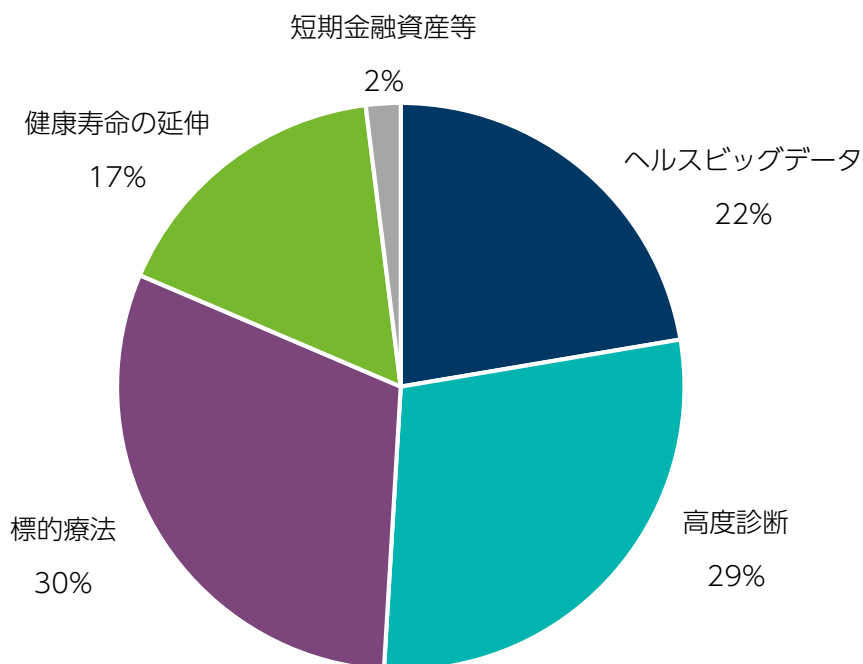
当資料中のデジタルヘルスケア戦略の運用実績や運用状況は、当ファンドのマザーファンドである「グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド」と同様の運用方針でラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーが運用する「Lazard Digital Health Strategy」のコンポジットリターン(運用報酬等控除前、米ドルベース・ネット)と代表口座の運用状況を示したものです。当ファンドと同様の運用ガイドラインや投資制限、運用体制および運用プロセスが適用されていますが、設定・解約の状況や投資環境の変化によるパフォーマンスへの影響や運用に係る費用などの諸条件は異なります。当ファンドや当ファンドのマザーファンドの運用実績や運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

デジタルヘルスケア戦略のポートフォリオ概要①

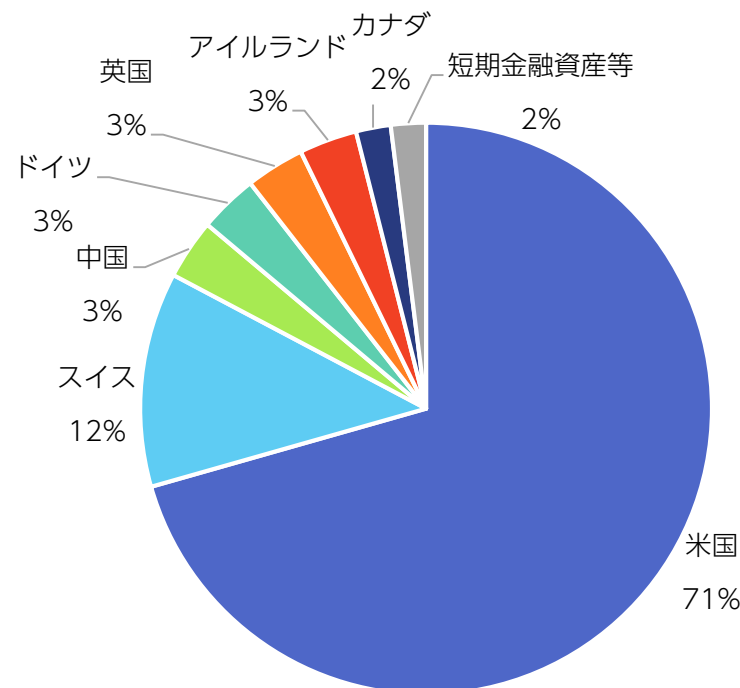
当戦略では、注目する4つの成長分野の組入比率は各々20~40%程度を目安としていますが、ベンチマークを設けておらず、国・地域別の組入比率については特段の制限を設けていません。

個別銘柄の中長期的な成長性を重視し、ボトムアップで銘柄選定を行っています。

成長分野別の組入比率



国・地域別の組入比率



出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 2021年9月末時点 比率は対純資産総額比。成長分野、国・地域はラザードの分類によるものです。上記はデジタルヘルスケア戦略(詳細はP19ご参照)の運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

③当戦略の良好な運用実績

デジタルヘルスケア戦略のポートフォリオ概要②

<組入上位10銘柄 (銘柄数：33)>

銘柄名	国・地域	成長分野	組入比率	概要
サーモフィッシャー サイエンティフィック	米国	高度診断	6.6%	世界約50カ国の拠点と従業員約90,000人を抱え、世界中の医薬・バイオ関連企業、病院、研究機関や臨床検査センターなどに科学機器などの製品やサービスを提供しています。
キャタレント	米国	標的療法	5.6%	約2,500名の科学者・技術者を抱え、医薬品・バイオ医薬品やヘルスケア関連製品のファウンドリー(開発・製造業務の受託)を中心とした事業をグローバルに展開しています。
IQVIAホールディングス	米国	ヘルス ビッグデータ	5.3%	バイオ医薬品会社、ライフサイエンス企業、製薬会社、保険会社や医療機関等に対して、医療情報の収集・分析に関するプラットフォームを提供しています。
ロシュ・ホールディング	スイス	標的療法	5.1%	世界最大級のバイオテクノロジー企業で、現在では腫瘍学、免疫学、神経科学や血液学などの分野で個別化した医療ニーズに対応した新たな治療法の開発を進めています。
CRISPRセラピューティクス	スイス	標的療法	4.4%	2012年に発表されて2020年には主要開発者にノーベル化学賞が授与された「CRISPR-Cas9」という遺伝子編集技術を応用し、難病や希少性疾患の治療法の開発を行っています。
インスパイア・メディカル・ システムズ	米国	健康寿命の 延伸	4.0%	世界的な慢性疾患である睡眠時無呼吸症候群を治療するための小型デジタル医療機器の研究開発および製造・販売を行っています。
デクスコム	米国	健康寿命の 延伸	3.9%	糖尿病患者向けの血糖値を自動的に測定できる小型ウェアラブル機器の開発と製造を行うデジタル医療機器メーカーです。
ガーダントヘルス	米国	高度診断	3.5%	世界で初めてリキッドバイオプシーと呼ばれる次世代診断サービスの提供を始めるなど、診断技術のイノベーションをリードするパイオニアです。
ラボラトリー・コープ・オブ・ アメリカホールディングス	米国	高度診断	3.5%	主に全米で臨床検査・診断テストサービスと、バイオ医薬品等の開発支援サービスを展開しています。
イグザクト・サイエンシズ	米国	高度診断	3.4%	がんの中でも死亡率の高い大腸がん向けの遺伝子診断サービスの提供を米国で初めて開始した診断技術のイノベーションリーダーです。

出所)ラザードのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 2021年9月末時点 比率は対純資産総額比。国・地域、成長分野はラザードの分類によるものです。上記はデジタルヘルスケア戦略(詳細はP19ご参照)の運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 日本を含む世界各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行います。

- 当ファンドにおけるデジタルヘルスケア企業とは、優れた技術・サービスにより、従来のヘルスケア産業のあり方を根本から変革し、健康・医療を取り巻く社会課題の解決をリードすると期待される企業をさします。

2. 株式運用で定評のあるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーが、徹底した調査・分析に基づき投資銘柄を厳選します。

- ファンドは、グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドの運用指図に関する権限をラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーに委託します。

3. 「為替ヘッジの有無」と「決算頻度・分配方針」が異なる4つのファンドから選択いただけます。

年1回決算型・為替ヘッジあり	年1回決算型・為替ヘッジなし
年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし

為替ヘッジの有無

為替ヘッジあり：組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます)を行い為替変動リスクの低減を図ります。

為替ヘッジなし：組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。

決算頻度・分配方針

年1回決算型：年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

- 毎年11月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

年2回決算型：年2回決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。

- 毎年5・11月の各18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
 - ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。

・ 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	〈為替ヘッジあり〉 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができるとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。なお、一部の外貨建資産の通貨に対しては、先進主要国通貨等の他通貨を用いた代替ヘッジを行う場合があります。その際、通貨間の値動きが異なる場合には十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。 〈為替ヘッジなし〉 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みメモ

購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金の申込みの受け付けを行いません。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、購入・換金の申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金の申込みの受け付けを取消すことがあります。
信託期間	2031年11月18日まで(設定日：2021年11月19日)
繰上償還	委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
決算日	年1回決算型：11月18日 年2回決算型：5・11月の各18日 ●該当日が休業日の場合は翌営業日となります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

■ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に 年率1.8975%(税抜1.725%) をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

■当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

■詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 分配金に関しては、以下の事項にご留意ください。

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 資料中の画像等はイメージをお伝えするものです。



ニッセイアセットマネジメント

-
- 委託会社(ファンドの運用の指図を行います)：ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506 (9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ <https://www.nam.co.jp/>
 - 受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行います)：三菱UFJ信託銀行株式会社
-